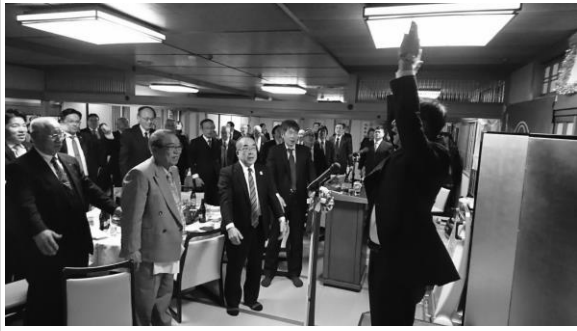


Verde 3月 緑広報

NPO 法人 **緑・ふれあいの家**
(緑地域活動協議会)
理事長 久木 勝三
広報委員会
大阪市鶴見区緑 3-3-3
電話 (06) 6915-6333

NPO法人 緑・ふれあいの家 新年互礼会を開催



NPO 法人 緑・ふれあいの家の新年互礼会に参加しました。1月14日の午後6時半から京橋の大北京で開催されました。同会は、約150人が参加し原口鶴見区保護司会副会長の開会宣言でスタート。まず、主催者側を代表して当法人の久木理事長から挨拶があり、「今年はG20、ラグビーW杯などと大阪を活性化させるイベントが目白押し。我々も一致して大阪・緑を楽しみたいものとしていこう。」と抱負を述べられました。続いて、私たちが日ごろお世話になっている行政、団体、企業を代表して、河村鶴見区長と西田鶴見区社会福祉協議会会長からご祝辞をいただきました。その後は、皆さんが心待ちにしておりました懇親に場をチェンジ。仲地域福祉文化部長の司会進行で懇親の輪が広がりました。私は緑一北町会に所属していますが、一北町会の役員の方々と日ごろの活動の苦労話をしたり、女性会や各種団体の皆さんとエールを交換したりと昨年の活動を振り返り、今年一年の活動の心構えを期すよい機会になりました。まさに「一年の計は、元旦にあらず、互礼会にあり。」この一年頑張ります。 広報委員 宮城和昭

第43回鶴見区民新春たこあげ大会

1月20日、西部コミュニティ広場にて、恒例の「第43回鶴見区民新春たこあげ大会」が開催されました。当日は朝から、あいにくの雨模様でしたが、たこあげ大会が行われる時間には雨もほとんど上がり、例年どおり開催されました。13時から開会式が始まり、主催者、来賓の挨拶、河村鶴見区長の祝辞の後、今年の新春たこあげ大会が始まりました。緑地域では、新年6日より2週に渡り大たこの製作を行いました。いつもの様に事前に準備した下絵から、たこになる紙に写し取り、下絵が完成したら色付けを行い、その後乾燥させます。次の週には、竹ひごを使って組み立て、糸を張っていきます。今年も干支にちなんで、いのししの絵を描きました。いつもの様に、鶴見区各地域から、大たこが参加していましたが、緑のたこが一番の出来栄ではなかったのでしょうか？開会式のあと、緑地域のメンバーにて大たこ共に記念撮影を行い、グラウンドにてたこあげに挑戦しました。当日の午後は雨上がりの曇天で、まったくの無風状態。たこあげには最悪のコンディションとなりました。風には期待できないため、たこあげメンバーはひたすら走り、空へ大たこを舞い揚げようと何度も挑戦しますが、なかなか上手く揚がりません。「日本の凧の会」の方にも糸の調整や、たこあげを手伝っていただき、何度目かに短い時間ではありましたが、何とか揚げることができました。会場では例年通り、「たこ作り教室」や、「たこの病院」が開設されるとともに、温かいぜんざいと粕汁も提供され、参加者にとってはとても助かりました。今年の新春たこあげ大会は前述の様に、朝からの悪天候で気温も下がり、子ども達を中心とした一般参加の方が大幅に減り、例年と比べて少し寂しい大会となりました。来年は、良いコンディションの中でたくさんの方が参加され、大いに盛り上がることを期待しております。皆さんも是非、ご参加、応援のほど、よろしくお祈りします。 広報委員 鍋本武



餅つき大会

1月13日、新年の晴れわたる青空の下、緑児童公園にて、今年最初のイベント「新春ふれあい餅つき大会」が開催されました。餅つき大会は昨年度から始まり今年が2回目となりますが、今年度は午前を緑・ふれあいの家主催、午後を子ども会主催の2部制として実施しました。午前の部は9時開始で女性会により前日からもち米の仕込み・準備、朝7時半頃より各種団体により「もち米蒸し」を始め、餅つきを開始。石臼3基で午前は90kg、午後は30kgの餅をつきます。午前9時、区長他区役所職員・鶴見区社会福祉協議会役員・鶴見区選出議員など多くの方々にご出席いただき開会式が執り行われました。開会式の後、いよいよつきたての餅を女性会をはじめとする女性役員の方々に「きな粉餅」「あん餅」等に手を加えられ、醤油だけでも味わえるよう丸餅の準備され、来場者のみなさまに振る舞われました。会場に設営した飲食スペースでは、暖かな日差しを浴びながら、来場者の皆さん



が年始の挨拶を交わし、楽しい会話とつきたてのお餅を楽しまれました。午後は子ども会へとバトンタッチ。今年につき手・返し手・餅加工も全て子ども会役員さんと保護者の方がされ、慣れないうちは、手慣れた役員に手ほどきを受けながら、徐々に慣れてくると、子どもたちにも餅つき体験を楽しんでもらいました。会場は多くの子どもたち・役員・保護者であふれ、それぞれつきたてのお餅を美味しく口に頬張っていました。今年度の餅つき大会は大変な盛会となりました。今後も地域住民の皆様に楽しんでいただける様々なイベントを開催しますので、振るつての参加をお待ちしています。

広報委員 野上裕志

鶴見区 成人の日記念の集い

1月14日、鶴見区成人の日記念のつどいが、鶴見区民センター大ホールにて行われました。当日は朝から成人の日を祝うかのような晴天です。新成人の方々は少し、緊張の面持ちで会場へ。第一部式典は、国歌・市歌で始まり大阪市長よりお祝いのビデオレターも流されました。今回は、新成人4名の「二十歳の誓い」の中から、緑地域在住の原田美夢さんの言葉を紹介します。

『二十歳の誓い』



本日は、私達が成人として第一歩を踏み出すにあたり、このような盛大な式典を開催していただき、誠にありがとうございます。私達がここに集い、笑顔で成人式を迎えることが出来たのは、ともに歩んできた仲間、私達の成長を温かく見守って下さった先生方や地域の方々、そして何より、どんな時も支えてくれた家族の存在があったからだと思います。この素晴らしい人々に囲まれ、育ってきたことを誇りに思い、感謝の気持ちを新たにしました。成人式という大きな人生の節目を迎え、これから変わり行く社会の中で、どのような大人になりたいか考えたとき、ふと祖父が頭に浮かびました。生前祖父は、どのような時も常に、周囲の人々の幸せを願い、積極的に地域の活動などに取り組み、厚く信頼され慕われていました。私もそんな祖父のような存在となれるよう、日々努力を怠らず邁進してまいります。私たち新成人は、未来の自分が誇れる大人となれるよう、一人の大人としての自覚と責任を胸に刻み、この先続く道を自分達の手で見つめ、自分達の足で、精一杯歩いていきます。挑戦する勇氣、支えあう気持ちを忘れることなく、人々との出会いや絆を大切に、手を取り助け合い、夢と希望あふれる未来を創り上げていくため二十歳の新たなスタートを切ることをここに誓います。簡単ではございますが、新成人代表の挨拶とさせていただきます。 新成人代表 原田美夢

会場では、4名の話を真剣なまなざしで聞く新成人も多く、これからの人生に対し真摯に向き合う姿勢が伝わり感動しました。その後、鶴見区長からのお祝いの言葉、鶴見区女性会の方々から花束贈呈、くす玉わりで第一部が終了しました。第二部では、大阪市内一といわれるほど豪華賞品がそろっているビンゴゲームが、鶴見区住みます芸人「美たんさん」の司会により行われました。息のあったコンビの進行でどんどんゲームは進んでいきます。新成人の方々からも、ビンゴが楽しかったとの感想を多く聞きました。来年、成人を迎える方々、20歳の迎えるにあたり何かやってみようかな、何かできないかななど思われていれば、ぜひ新成人代表となり、舞台上に立ってみませんか？そして、一度しかない成人の日のよい思い出にしていだければと思います。

青少年指導員 竹本真理

第22回 緑・大運動会

日時：平成31年5月26日9時～

お母さんも走る！ 新春リレージョギング大会

1月19日、平成最後となる「第21回鶴見区新春リレージョギング大会」が鶴見緑地で開催されました。この大会は、西部コミュニティ広場をスタートし緑地へ向かう坂を上り、鶴見緑地の芝生を周回して戻ってくる1周約2.5kmを1チーム2～5人でタスキリレーをしながら約2時間内での周回数とタイムを競うレースです。天候は奇しくも、大会史上初めての雨。冷えた空気の中、参加者は傘をさして、開会式、スタートの時を待ちました。150チームがエントリーされた中、学級閉鎖により出場不可となったチームや、雨に濡れ体調を崩す懸念があるなどの理由から出場を辞退されたチームもあり、無事出走できたのは130チームで、緑地域からは子ども会、サッカーチーム、継続して参加している家族チームなど、エントリーした15チーム全てが元気に出走。その中で、子ども会キックベースボールチームと保護

者である子ども会役員のお母さんチームに今回スポットをあててみました。競技中は、別々のチームながら低学年の子どもを見守りながら、親子で仲良く走る微笑ましい姿も見受けられる一方、高学年の子どもは、お母さんをどんどん引き離し、先に走っていったようで、後半はその姿を見かけることができませんでした。子どもの成長には実に驚かされるとお母さん方は言います。そこでよい機会なので、母親として子ども会に参加するいろいろな楽しさやメリットを聞いてみました。まず、子どもの笑顔に接すること、たくさんのお母さんに出会えること、色々な絆ができることなど、口々に話されました。「確かに大変なことも多いけど、異なる学年の子どもたちとの交わりや、その親との出会いを通して、子ども会に参加していなければ得られないことも多いと思います」とのこと。人との出会いが増えるということは、人生にとっても大



きなことで、自分自身の世界を広げることができ、学ぶことも多いはず。そして、親子や親同士、縁あって同じ地域に住む人同士の絆につながっていくことでしょう。我が家も6年前に大会に参加した経験があり、成人した娘と息子、夫と甥っ子が走り、私は応援のみでしたが、楽しい思い出となっています。思い出作りにもなりますので、読者の皆様も挑戦されてはいかがでしょうか？ 広報委員 萩原厚子

新たな詐欺にご注意を！

一般社団法人 全国銀行協会が新元号への改元を理由に送り主を「一般社団法人 全国銀行協会」とし、銀行のキャッシュカードを返信用封筒にて送れと言う詐欺が流行る兆しがあると全国銀行協会が注意喚起しています。

ここ大事！

- ・元号が変わってもキャッシュカードの返納を求めるとはなりません。
- ・一般社団法人 全国銀行協会がキャッシュカードを回収や再発行する事はありません。
- ・怪しいと感じたら、ご利用の銀行にお問い合わせを！

防ごう特殊詐欺

「怪しいな？」「ややこしいな？」

と感じたら、

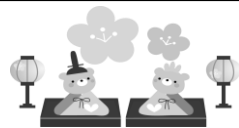
いちど警察や銀行窓口で聞いてみましょう！

今まで無かった新たな詐欺に巻き込まれない様に

一人一人が注意をしましょう！



行事予定(3月～4月)



開催日	行事名	開催場所
毎週日曜日	日曜ふれあい喫茶	緑ふれあいの家
毎週水曜日	子ども見守り隊	通学路要所
毎週木曜日	緑ふれあいランチサービス	緑ふれあいの家
毎週火・木曜日	緑ふれあいトレーニングハウス	グリーンランドみずき他
毎月第3火曜日	囲碁・将棋友の会	緑ふれあいの家
毎月第3木曜日	子育てサロン	緑福祉会館
毎月第4木曜日	ステップ教室	緑ふれあいの家
偶数月第2土曜日	緑いどばたクラブ	緑ふれあいの家
奇数月第4日曜日	地域一斉美化活動	緑地域全域
適時	地域防犯パトロール	緑地域全域
3/3(日) 9:00～	第6回区民グラウンドゴルフ大会	西部コミュニティ広場
3/3(日) 9:00～	鶴見区卓球大会	鶴見スポーツセンター
3/10(日) 9:00～	鶴見区バドミントン大会(会長杯)	鶴見スポーツセンター
3/17(日) 11:00～	生涯学習ルームフェスティバル	鶴見区民センター
3/31(日) 9:30～	緑・桜まつり	緑第一公園
4/14(日) 9:00～	市長杯各区対抗予選鶴見区卓球大会	鶴見スポーツセンター
4/21(日) 9:00～	ママさんバレーボール大会(年齢別大会)	鶴見スポーツセンター
4/21(日) 10:00～	第9回鶴見区『児童・生徒』写生大会	鶴見緑地

不定期連載

ちよこっと雑学

東京オリ・パラ2020まで、あと1年ー 主にパラリンピックの基礎雑学・第4回

最近、よく見聞きにするようになった「パラスポーツ」ですが、陸上・競泳・テニス・柔道・馬術・ボートなどオリンピック種目と同様な競技が大半です。「東京パラリンピック」で実施される22競技中20競技がルールや用具を少し工夫したりしていますが概ね「オリンピック競技」同様または類似の競技となります。

では、「パラスポーツ」独自の競技は？

東京大会では「ボッチャ」や「ゴールボール」の2競技が実施されます。ボッチャはカーリングに似たボール競技で、目標になるボールに自分(自チーム)のボールを多く近づける事によってポイントを競います。リオ大会では団体混合で日本代表が銀メダルを獲得した事を覚えている方もいらっしゃるでしょう。ゴールボールは目隠し状態で鈴の入ったボールを相手ゴールに入れ点数を競います。ボッチャはそれこそ1ミリの精度を競い、ゴールボールは見えないボールを音を頼りにゴールを奪い合います。でも、これらの競技って、実は障がい者のみならず老若男女、どなたでも楽しむことができますよね。今、緑地域では3丁目緑寿会(敬老会)の方たちが、週2回ボッチャを楽しんでいらっしゃいます。一度体験したいと思われる方、NPO法人 緑・ふれあいの家事務局までご連絡ください。大阪市スポーツ推進委員会がお手伝いいたします。事務局 ☎ (06) 6915-6333

ふれあい4コマ “しあわせ家族”

子育ては辛抱強く

【イノシシの子育てに学ぼう】



イノシシの赤ちゃんは、その形や模様が瓜に似ていることから「ウリ坊」と呼ばれています。8年前、京都の福知山動物園では、背中にニホンザルの赤ちゃんがしがみついたまま歩き回るウリ坊の姿が可愛いと話題になり、大ブームになったこともありました。そんな可愛いウリ坊を一度に5頭前後も産むというイノシシのお母さん。その子育ては、まずお母さんが手本を見せ、それを子どもたちが真似ることの繰り返しだといえます。お母さんが、食べられる葉や芽を食べて見せたり、鼻先で土を掘って木の根や昆虫を探し出したりすると、子どもたちが真似をして、食べられるものや、食べ物の探し方をおぼえていきます。また、移動中にお母さんが急な斜面を駆け上がると、子どもたちも一生懸命ついていこうとしますが、まだ小さい子どもたちは滑り落ちたりして、なかなか斜面を登れません。そんな時、お母さんは立ち止まって子どもたちを見守り、登ってくるまでじっと待っています。お母さんは、手本を示したら、できるまでじっと見守るだけ。子どもたちは、せかさされることも、置き去りにされることもなく、温かく見守られながら伸び伸びと成長していくのです。この子育て術は、人間の子育てにも通じるもの。教えた通りにできない子どもにイライラして、つい叱りつけてしまうお母さんは、イノシシの辛抱強い子育てを少し見習った方がいいかもしれませんね。

文責: 念法真教金剛寺 内野芳徳

NPO法人 緑・ふれあいの家 ホームページ

<http://midorihureainoie.jimdo.com/>

フェイスブック・ブログもあります。ホームページからご覧ください。

本紙へのご意見・お問い合わせは、NPO法人 緑・ふれあいの家へ

直接お電話いただくか、HPのお問い合わせフォームからお願いいたします。